



韓国の国家奨学金制度 : 現況及び問題点(発表資料)

イ, スヨン

桔川, 純子(翻訳)

(Citation)

日韓シンポジウム, 第4回

(Issue Date)

2016-01-23

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81010577>



韓国の国家奨学金制度 - 現況及び問題点 -

大学教育研究所

Korea Higher Education Institute **KHEI**

Yi Suyeon(イ・スヨン)

成績基準による脱落、学期約15万人に達する

国立大学、所得4,5分位の生徒まで国家奨学金半額の体感

私立大学、所得2,3分位の学生まで国家奨学金半額の体感

国奨学金学生の割合は、全体の大学生の半分にもならない

成績基準による脱落、学期約15万人に達する

所得3～5分位の国家奨学金の割合22.5～27.5%に過ぎない

大学自体の奨学金のうち、低所得層の奨学金の割合28.6%

国家奨学金支給の現況-1

大学教育研究所 **KHEI**

2014年大学系列別平均登録金に対する所得分位別の国の奨学金の比重

(単位 : 百万ウォン、%)

区分		基礎	1分位	2分位	3分位	4分位	5分位	6分位	7分位	8分位	平均 登録金
所得分位別 平均国家奨学金		4.49	4.57	4.58	3.73	2.96	2.19	1.74	1.29	1.26	
国立	人文社会	127.4	129.7	130.0	105.8	84.0	62.1	49.4	36.6	35.8	3.5
	自然科学	104.6	106.5	106.7	86.9	69.0	51.0	40.5	30.1	29.4	4.3
	工学	99.5	101.3	101.5	82.7	65.6	48.5	38.6	28.6	27.9	4.5
	芸術能	97.4	99.1	99.3	80.9	64.2	47.5	37.7	28.0	27.3	4.6
	医学	67.3	68.5	68.7	55.9	44.4	32.8	26.1	19.3	18.9	6.7
私立	人文社会	70.1	71.3	71.5	58.2	46.2	34.2	27.2	20.1	19.7	6.4
	自然科学	58.2	59.3	59.4	48.4	38.4	28.4	22.6	16.7	16.3	7.7
	工学	54.2	55.2	55.3	45.0	35.7	26.4	21.0	15.6	15.2	8.3
	芸術能	54.3	55.2	55.4	45.1	35.8	26.5	21.0	15.6	15.2	8.3
	医学	44.6	45.4	45.5	37.1	29.4	21.8	17.3	12.8	12.5	10.1

国家奨学金支給の現況-2

大学教育研究所 KHEI

2013～2014年国家奨学金申請者と受益者の現況

(単位：名、%)

区分		2013年		2014年	
		1学期	2学期	1学期	2学期
在学生数(A)		2,328,066		2,325,369	
申請者	人員(B)	1,529,124	1,373,285	1,450,082	1,401,790
	比率(B/A)	65.7	59.0	62.4	60.3
所得分位 照合者	人員(C)	1,490,950	1,357,283	1,421,959	1,380,811
	人員(D) (8分位 以下)	1,155,096	1,087,920	1,149,814	1,133,797
	比率(C/B)	97.5	98.8	98.1	98.5
成績通過者	人員(E) (8分位 以下)	1,013,021	919,897	1,024,104	991,002
	比率(E/D)	87.7	84.6	89.1	87.4
選抜結果	I類型	976,100	883,839	961,496	938,010
	多子女	-	-	24,831	19,877
	II類型	632,168	589,053	577,373	538,492
	計(重複を除外)(F)	977,293	887,741	991,875	970,578
受益者の比率	比率(F/E)	96.5	96.5	96.9	97.9
	比率(F/A)	42.0	38.1	42.7	41.7

1 恩恵的な性格による公共性の制約

2 授業料引き上げの可能性が常時存在

3 学資金ローンの持続と延滞者の増加